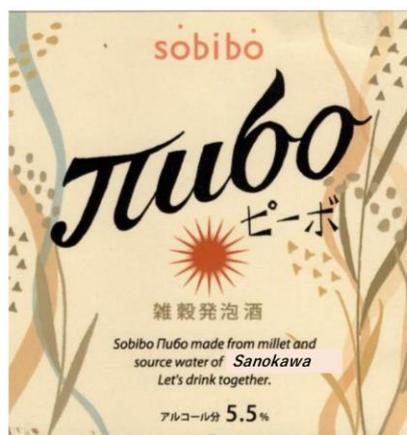


2023年の国際雑穀年（International Year of Millets）を記念したイベントとして、1/21（土）・2/18（土）・3/18（土）の「国際雑穀年記念・つぶつぶ雑穀パワーフェス」（Zoom 開催）を共同開催しました。2/8（水）には相模原市長と面会し、「雑穀街道」を FAO 世界農業遺産への登録申請するための協力についてお願いしました。今後も上野原市長との面会など「雑穀街道」周辺の自治体に賛同していただけるように人と活動を繋げて行きたいと思っております。引き続き、ご助力頂けますようお願い致します。

<http://www.milletimpic.net/milletsworld/milletstrasse/ms22n3v.pdf>

**<ご案内1>** 国際雑穀年を記念し、雑穀街道を「国際連合食糧農業機関（FAO）世界農業遺産」に登録する活動を普及促進を図るために、雑穀発泡酒 ソビボ・ピーボ（素美暮発泡酒）の復刻を計画し、第一弾として限定 50 口での醸造を目指しています。宮本茶園にてキビおよびホップを栽培し、藤野の Jazz Brewing Fujino（山口さん）で醸造します。山口さんの醸造所は、2018 年神奈川県相模原市にある陣馬山の麓にオープンした超小規模醸造所で、日本の里山百選にも選ばれた旧藤野町佐野川の名水を使用し、非加熱・無濾過製法。使用している酵母は仕込み毎に使い切りの純粋培養された活性度の高い酵母でこだわりの醸造を行っています。新しい雑穀街道の名産になれば、地域の新しい生業創出にも繋がります。ぜひ、ご賛同いただき、仮予約いただければと思います。価格は 1 口（330 ml 瓶 6 本入り）で 5,500 円（送料込）、宜しければ任意の寄付を加えて頂ければ嬉しいです。

※1 バッチ（330ml 瓶 300 本）の製造価格が約 20 万円、これらにラベルデザイン・印刷代、送料などの経費に使用します。



雑穀街道を世界農業遺産に登録しよう

麦芽使用率 x x % 以上  
Z z 産麦芽 70 %  
その他の材料：相模原市緑区産  
日本の里100選佐野川の水 100 %  
キビ 30 %、ホップ  
内容量 330 ml



国際雑穀年記念2023  
雑穀街道普及会

【仮予約方法】

企画へのご質問や仮予約申込先は雑穀街道普及会、事務幹事 木俣に下記メールでお願いします。

kibi20kijin@yahoo.co.jp

仮予約が限定 50 口になりましたら、改めてご連絡し、代金などをお振込みいただきます。

企画団体：植物と人々の博物館／日本村塾自給農耕ゼミ（佐野川）、雑穀街道普及会ほか

**<ご案内2>** 環境学習市民連合大学 第 6 回自給農耕ゼミ（小金井）※昨年 7 月に延期していたものを実施します。

日時：2023 年 4 月 15 日（土）13：30～16：00

集合・解散場所：JR 東小金井駅北口

場所：小金井市関野町、梶野町の玉川上水周辺（定員：15 名） 資料代 300 円

話題：「明日につなぐ風景～東小金井・梶野町の民有地が彩る HANANA と緑」（屋敷林、都市農地の巡検）

案内者：小谷 俊哉さん（小金井市環境市民会議、グリーン・ネックレス）

要旨：市民参加や民有地所有者が携わってきた東小金井・梶野町周辺の緑を巡検します。1964 年に全国初の請願駅として開業した東小金井駅の周辺は、2000 年に始まった JR 中央線の高架化事業を皮切りにその姿を大きく変えてきました。一方、江戸時代に玉川上水から分水を引くことで開拓が進んだ東小金井駅北側一帯の梶野町は今でも屋敷林や農地が点在し、東小金井駅から北の小金井公園の間をみどり水路でつないでくれています。この梶野町で、長年たくさんの花で彩られた農地とアパートを営み、多様な樹木から成る屋敷林の中で住まれていた瀧島義之さんが昨年 1 月に亡くなりました。花と緑を愛し、2004 年の陳情に始まり屋敷林を残すことに精力を傾けた故人の足跡を辿りながら、新旧の東小金井駅北口周辺を巡り、「明日につなぐ風景」に向けて私達ができることは何か、参加者のみなさまと一緒に考えます。

協催：カエルハウス運営委員会、NPO 自然文化誌研究会／植物と人々の博物館／雑穀街道普及会

申込み連絡先：042-316-1511（カエルハウス運営委員会）または office@katayamakaoru.net